

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会はSDGs教育を推進しています。



東大成小学校の合言葉「みんなが笑顔の東大成小学校」

学校教育目標である「よく考え 進んで学ぶ子」「すなおで 思いやりのある子」「心も体も たくましい子」「仲間と 協力し合う子」の実現に向けて、「分かる授業・基礎学力の確実な定着」「豊かな心と健やかな体の育成」「コミュニケーション能力の育成」に重点を置き、日々の教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市北区東大成町2-12

■電話：048-663-3210

■FAX：048-663-9883

■交通：埼玉新都市交通ニューシャトル「鉄道博物館駅」下車徒歩10分

01 児童会組織を中心とした「みんなが笑顔の東大成小学校」づくりプロジェクト



児童会・代表委員会の児童を中心に、児童会のテーマ「元気で明るいあいさつ、やさしい心で力を合わせる東大成小学校」の実現を目指した活動を計画し、次の活動に取り組んでいます。

(1) 代表委員会によるあいさつ運動

登校後に正門や廊下にて、代表委員会の児童があいさつ運動を行い、あいさつの輪を広げる活動を行っています。令和5年度は代表委員会の児童が各教室を訪れ、あいさつ運動を行う取組を始めました。学校全体で進んであいさつをする児童が増えるなど協働的に目標を達成しようとする成果が見られています。

(2) 委員会活動でSDGsの実践

令和5年度の委員会活動において、全ての委員会が年度当初にSDGsの目標を定めました。年間を通して目標を達成するために活動し、児童集会等において啓発活動にも取り組んでいます。



各学級を訪れてあいさつ運動をする様子

02 創造性を育むPBLを通して、持続可能な社会の創り手を育成するSTEAMS TIME



5年生のSTEAMS TIMEの学習において、「東大成小ユニバーサルコンテスト」として次の活動に取り組んでいます。

- (1) 解消したいバリアについて、タブレット端末を活用したり、他者と意見交換したりする中で、課題を多角的に捉え、解決するためのアイデアを広く集められるようにしています。
- (2) 発想したアイデアを仮説として設定し、検証実験における変化をデータ化することで、最も効果的な方法を検証します。そして、学習のまとめとして、自身が集めたデータを根拠として、最適な課題解決方法のプレゼンテーションへとつなげるようにしています。



バリアの解消について話し合っている様子

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 日進小学校** > > > > > > >

本校は、創立152年を迎え、歴史のある地域に根差した学校です。学校教育目標「たすけあう子 かんがえる子 たくましい子」の具現化のため、学校経営方針「子どもに寄り添い、気づき、認め、褒めて育てる教育の推進」に取り組んでいます。

■所在地：埼玉県さいたま市北区日進町 2-911 ■電話：048-663-6942
■FAX：048-664-8988 ■交通：JR 川越線日進駅より徒歩 10 分

01 ビオトープなどの活用により自然に親しむ態度の育成



本校では、ビオトープ、花壇、学校ファームを利用し、生活科や理科の学習と関連付けながら、自然に親しむ態度を育んでいます。ビオトープでは四季折々の草花が育ち、甲虫類やバッタ、カマキリなどの昆虫が生息しています。ビオトープ委員会の児童が整備をしたり、秋には児童が落ち葉拾いを行ったりして自然と触れ合っています。また、ビオトープクイズラリーを企画し、全校児童が、より自然に親しめるような活動に取り組んでいます。



02 自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成



本校では、令和4年度より、「自分の思いや考えを伝え合うことができる児童の育成」に取り組んでいます。令和5年度からは、ICT 活用を推進する実践に取り組みました。児童が自分の考えを表現し、伝え合い学びを深められるように授業改善に取り組み、各単元で学んだことをどのように生活に生かしていくかを考えさせる授業を推進していきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
日進北小学校



目指す児童像

- 進んで学び、問い続ける子
- 人や社会とつながり、自分からあいさつのできる子
- 自律心をもって行動し、意欲的にチャレンジできる子



■所在地：さいたま市北区日進町3丁目178番地

■電話：048-663-1842

■FAX：048-663-9884

■交通：JR 高崎線宮原駅・JR 川越線日進駅徒歩 10 分

01 児童と地域のよりよい生活のために



昨年度より、合言葉「宇宙一すてきなあいさつ日北っ子」を掲げ、〈募集ポストとあいさつ紹介〉温かく、それでいてけじめのある学習環境の定着に取り組んでいます。

児童会中心のあいさつ運動の実践をするのみでなく、全校児童に「すてきなあいさつ大募集」として、すてきなあいさつの場面を具体的にイメージできるようにしています。高学年を中心に「すてきなあいさつ」ができる児童が増えています。本校卒業生が住みやすいまちづくりを目指す地域の一員となれるように願って取り組んでいます。

02 未来に向けて、誰もが幸せな生活をおくるために



○「総合的な学習の時間」を活用したSDGsの実践

- ・3年生「わたしの町のすてきな人たち」では、地域に住む方々の活動を知る学習を通して、地域のよさに気づき、地域に貢献する心情を育てます。
- ・4年生「ぼくら、日北環境防衛隊」では、地域の身近な環境に目を向け、環境を守ることとはどういうことかを理解し、持続可能な社会に向けての意識を高めます。
- ・5年生「共に生きる～人にやさしいまちへ～」では、福祉にかかわる方のお話を聞き、車いす体験や手話体験などを通して、「人にやさしいまち」についての考えを深め、よりよい福祉環境づくりに参加する態度を育てます。
- ・6年生「日本文化探検隊」では、日本と世界の国々の生活や文化の類似点や相違点を調べる中で、それぞれの国のよさを考えていき、異なる文化を尊重する態度を育てます。

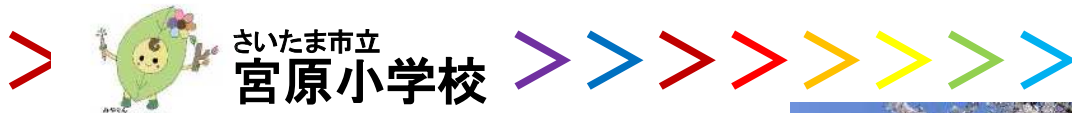


〈地域の貴重な自然 三貫清水〉

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



本校は学校教育目標を「心身ともに健やかで主体的に生きる子どもの育成」とし、読解力向上を中心に研究を推進しています。

「宮原の地にかがやく学び舎」を目指し、

1. 子ども一人ひとりが輝ける学校
 2. 保護者、地域が信頼して子どもたちを通わせることができる学校
 3. 教職員が勤めてよかったと思える学校
- の具現化に向け、教育活動に取り組んでいます。



■所在地：さいたま市北区宮原町4丁目102番地6

■電話：048-664-5153

■FAX：048-664-8989

■交通：JR高崎線宮原駅東口徒歩15分

01 「生きる力」「確かな学力」を育む教育活動の展開



本校では、総合的な学習の時間において、3、4年生ではまちづくり（宮原のまちの魅力や住みよいまちづくり）、5年生ではエネルギー（環境）、6年生では働きがい（自分の将来）について学習しています。

6年生は「つぼみの日」を通して近い将来である中学校生活に触れます。その後、職業について調べ、友達と話し合いながら、自分のこれからについて考えを深めています。



02 学んで「楽しい」「わかる」「力になる」授業づくり



「基礎学力の定着を図り、自分の考えを豊かに表現できる児童の育成」に向け、国語科を中心とした研修に取り組んでいます。

令和6年度は、学力の土台をしっかりとさせることを一番に考え、その上で児童の読解力が向上していくよう、学校全体として取り組んでまいります。

国語科で培った力を他教科等でも応用するとともに、SDGsの視点を意識した授業も行なってまいります。



03 子どもたちが健康で、安心、安全に学べる学校づくり



本校は、感染症等の予防対策として、うがいや手洗い等の衛生管理に努めています。また、子どもたちの心のケアにも注意を払い、「スクールダッシュボード」システムを効果的に活用し、変化を見逃さず、子どもたちが健康で安心、安全に学べる学校づくりを行っています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 植竹小学校** > > > > > > >

「すすんでまなぶ子」「たすけあう子」「げんきな子」の学校教育目標のもと、今年度、開校 73 年目を迎え、「児童にとって学びがいのある学校」「保護者にとって頼りがいのある学校」「教職員にとって働きがいのある学校」「地域にとって誇りのもてる学校」の実現に向けて、教育活動を実践しています。



■所在地：さいたま市北区植竹町 2 丁目 1 番地 ■電話：048-663-7627
■FAX：048-663-9885 ■交通：JR 宇都宮線土呂駅より徒歩 10 分

01 地域のよさ、人とのかかわりを知る活動



本校では、児童が学区探検や地域めぐり、施設見学を通して、地域の様子やよさ、地域に暮らす方たちとのかかわりを学ぶ機会を設けています。低学年の「通学路探検」や「まち探検」では、学校の周りの様子や施設、地域で暮らす方たちと自分たちとのかかわりについて学習します。中学年では、自分のまちの素敵なおところを見つけ、調査し、まとめて発表する学習をしています。活動したことをもとに、児童は自分の住むまちの特徴などを知り、地域のよさを広めるためにできること、自分が地域のためにどんなことができるか考える機会をもちます。



これらの活動を通して、地域で暮らす方々の思いや願いを知るとともに、自分も地域の一員であることを自覚していきます。

02 盆栽のよさ・素晴らしさを実感し、発信する活動



本校の学区には、「盆栽町」があり、古くから盆栽に関する職業に携わる方々がたくさん住んでいます。第 5 学年の総合的な学習の時間では、「日本の文化を知ろう」と単元設定し、地域の特徴である盆栽について学習しています。児童は、盆栽に関する施設を見学後、自分で課題を設定し、調査、まとめ、発表を行います。



03 地域の特徴的な産業、人材を活用しての活動



本校では、学区内の盆栽の関係施設の方をお招きして、5・6 年児童を対象に「盆栽教室」を実施しています。盆栽教室では、盆栽の歴史や見方、種類、育て方等を学習していきます。児童は、盆栽関係施設の方の指導のもと、盆栽ボランティアの方の補助をいただきながら、鉢の植付や剪定など世話の仕方を学び、「マイ盆栽」として、一人一鉢自分の盆栽をつくります。5 年生の「マイ盆栽」の苗は、卒業生が選定した枝を挿し木として育て、後輩たちの苗として受け継がれています。毎年地域で開催される「大盆栽まつり」でも、「マイ盆栽」を出品し、地域の方々にも見ていただいています。「マイ盆栽」は、児童の委員会活動や盆栽ボランティアの方々の助けをかりながら、卒業まで継続して世話をし、卒業後も自宅に盆栽を持ち帰り、継続して手入れをしていきます。「マイ盆栽」は、校内の盆栽庭園に並べられ、いつでも自分の盆栽の状況を目にすることができます。低・中学年の児童も、日頃から盆栽庭園の様子を目にすることにより、盆栽をより身近なものに感じられるような環境になっています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会ではSDGs教育を推進しています。



さいたま市立
大砂土小学校



夢いっぱい 笑顔いっぱい ひとみ輝く大砂土っ子

- 開校151年の伝統校
- 挨拶と笑顔のあふれる学校
- 秩序あり、優しさのあふれる学校
- 認め合い、学び合い、高め合う学校
- 安全で美しい、潤いのある学校



■所在地：さいたま市北区本郷町1番地
■FAX：048-663-9886

■電話：048-663-7005
■交通：JR土呂駅徒歩12分

01 UD*の視点に立った教室環境で学ぶために



質の高い教育を行うために、全ての児童が学習に集中できる環境づくりを目指しています。全ての教室において、右半面を白色の電子黒板とすることを統一すること、名簿やマグネット、プリントなど、授業に関係のないものを掲示しないこと、黒板横の掲示スペースにカーテンを設置し必要に応じて閉めること、教室前方の上方中央部に掲げられる学校教育目標や学級目標を教室後方に掲示することなど、児童の視点が黒板に集中できるようにするなど、目標4「質の高い教育をみんなに」に取り組んでいます。 *UD：ユニバーサルデザイン



02 安心・安全な学校生活のために



「認め合い、学び合い、高め合う学校」を目指すために、学習指導と密接に関連付けながら、「認め、励ます」生徒指導を展開することで、目標10「人や国の不平等をなくそう」などに取り組んでいます。児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するとともに、いじめや不登校問題に対して、正確な情報を素早く把握できるように努め、迅速で組織的な対応を徹底します。また、Sola るーむを充実させ、安全・安心な居場所の確保、自己肯定感の向上、学習機会の保障に努めます。さらに管理職・各担任・専門職（SC・SSW*）等が連携し、教育相談体制を充実させ、児童のみならず、保護者にとっても「安心で安全な学校」を目指して取り組んでいます。

*SC：スクールカウンセラー SSW：スクールソーシャルワーカー



03 健やかな心と体を育てるために



広い校庭を有し、たくさんの木々や花々に囲まれた自然豊かな学習環境を活かして、SDGsを意識したSTEAMS教育を展開しています。学校ビオトープには、メダカや様々な昆虫たちが生息し、生活科や理科、総合的な学習の授業で活用し、昆虫や植物を観察するなど、自然との触れ合いを楽しみながら活動しています。環境整備は、栽培委員会と美化委員会が中心となり、また、学校ボランティアの方々の支援をいただいています。夏は大きな日陰を作り、児童たちに休憩の場を与えている校庭のけやきの木々も、秋にはたくさんの葉を落とします。学級ごとに落ち葉拾いの時間を設け、児童自らが環境を整える奉仕活動に取り組んだり、落ち葉を活用した堆肥づくりに取り組んだりします。これらの活動を通して、児童たちが当たり前前に自然に触れ、当たり前前にその大切さを感じ、目標11「住み続けられるまちづくり」などと関連して、地域とともにある学校づくりを推進してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立
大宮別所小学校



学校教育目標「大きな夢 カいっぱい～かしこく
ゆたかに たくましく～」のもと、令和時代を生きる
子どもたちの育成に取り組んでいます。また本校
の卒業生である若田光一宇宙飛行士からも、夢をも
つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの
大切さを学んでいます。



■ 所在地：さいたま市北区別所町 42-1

■ 電話：048-667-3633

■ FAX：048-667-8770

■ 交通：JR 高崎線宮原駅徒歩 20 分

01 夢をもち、挑戦し続ける児童の育成



本校は若田光一さんの母校です。令和4年度10月～3月に若田さんが5
度目のフライトを成功させたことから以下のことを実践しました。

○生活目標と連携した夢月間の設定。

○「宇宙の日」の作文・ポスター絵画コンクールへの応募。

○若田光一さんを招き、5度目のフライトに関する講話。

○若田さんからの5度目のフライト記念品を宇宙コーナーに展示。



このような活動から、若田さんの夢に向かって努力し、挑戦し続ける姿勢を学ぶこと
で、夢をもつことの素晴らしさや、夢の実現のため努力することの大切さを学んでいます。

02 アプリやロボットを活用した STEAM TIME の実施



令和5年度の STEAMS TIME は、3年生では、スクラッチ
アプリを活用したアニメーション作りとみんなが楽しめる
ピタゴラス装置の作成。4年生は、照度や温度、人感といったセンサーが搭載されたアプ
リ、MESH を活用した生活を便利にする道具作りを行いました。そして5、6年生におい
ては、ソフトバンクの方を講師に招き、「Pepper」を活用した学習を行いました。



具体的にはプログラミング学習として、アプリを使つてのロボットの動かし方を学んだ後、PBL とし
て、Pepper を使って「人のためになること」をグループで考えて発表しました。令和6年度は令和5年
度に行ったものを活かしてさらによい活動にしていける予定です。

※「Pepper」はソフトバンクロボティクスの登録商標です。

03 食育の推進



本校には梨園があり、食育に力をいれた教育活動
を行っています。地域の農園の方の御指導のもと、
栽培委員が一年を通じて世話をし、収穫まで行います。収穫した梨は給食で提供
し、食育の一環となっています。梨園の他にも、中庭に夏みかんの木があり、収
穫した夏みかんを給食で提供しています。また、令和4年に学校菜園を増設し、
低学年の生活科では花や野菜の栽培、中高学年の理科では植物の生長を学ぶ学習
において活用しました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 泰平小学校** > > > > > > >

■所在地：さいたま市北区今羽町628 ■電話：048-651-5637 ■FAX：048-651-4831
■交通：埼玉新都市交通ニューシャトル「今羽駅」より徒歩10分

01 大砂土デイサービスセンターとの交流を通して



本校は、学校の敷地内に大砂土デイサービスセンターが併設されています。各学年で以下のような交流を実施しています。

1年生：学校たんけん・昔あそびの会（生活科）

デイサービスが1年生廊下の奥にあるので、どんな場所なのか興味深々です。所員さんに話をインタビューしたり、休み時間に利用者さんと触れ合ったりします。



1年生

2年生：おもちゃフェスティバル（生活科）

自分たちの作ったおもちゃで遊びのお店を出して、1年生と利用者さんを招待します。輪ゴムでっぽうやどんぐりゴマなど、手作りおもちゃがいっぱいです。



2年生

3年生：デイサービスってどんなところ（総合）

低学年で利用者さんたちと交流を深め、3年生でデイサービスセンターについて詳しく学びます。所長さんから話を聞き、気になる点を自分たちで調べます。



3年生

4年生：敬老の日お祝い会（総合）

9月の敬老の日に合わせて、利用者さんたちに歌などのプレゼントをします。どんなことをしたら喜んでもらえるか、自分たちで企画して実行していきます。



4年生

5年生：ふれあいの輪・和を広げよう（総合）

デイサービスの方たちに学習した内容を披露する場を設けています。デイサービスの方たちに披露する内容は、毎年子どもたちが考えています。



5年生

6年生：茶話会（家庭科・総合）

六年間自分たちの学びを深めてくれたデイサービスの利用者さんたちを茶話会に招待します。一緒に話をしたりゲームをしたり、楽しい交流をしながら、誰とでも楽しく過ごしていこうとする意欲や態度を養います。



6年生



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



さいたま市立

つばさ小学校



1. 子どもたちが生き生きと輝く学校、教職員と保護者・地域がチームとなる学校、地域とともに発展する学校、職員みんなが力を発揮する学校を目指します。
2. 夢と希望をもち、未来にはばたくつばさ子を育成します。
3. 開校16年目を迎え、環境に優しく、設備も充実し、安全で安心して学ぶことができる学校です。



■所在地：さいたま市北区宮原町3-902-4 ■電話：048-661-0283
 ■FAX：048-653-4714 ■交通：日進駅徒歩6分 宮原駅徒歩12分

01 児童が健康で安全に過ごすために

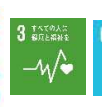


本校は学校教育目標に、強いからだをもちねばり強い子を育てることを掲げ、保健指導の充実を図っています。今年度も、保健委員会の児童が、毎月「保健新聞」や歯の健康月間に合わせて「歯磨きカレンダー」を作成する、8020歯の健康教室において歯科衛生士による歯磨き指導を行うなど、児童の健康に対する意識の向上に努めます。

本校は2つの駅が近いことから、安全に生活するための心構えを育てています。学校内では、「自転車運転免許制度」「薬物乱用防止教室」「交通安全教室」「防犯教室」「けがマップの作成」等を実施します。また、登下校の際には、交通指導員さん、防犯、見守りなどのボランティアさんや、保護者の皆様、子ども110番の家の皆様等により、児童の安全を見守っていただいております。今年度も、踏切や人通りの多さからくる様々な危険に、自ら考え行動できるよう安全指導の充実を目指しています。



02 人にも環境にもやさしいつながりを大切にするために



本校では、学校施設内に雨水タンクを備え、校舎内外すべてのトイレの洗浄に雨水を利用しています。また、屋上には太陽光発電のパネルも設置しています。

福祉委員会の児童による緑の羽根や赤い羽根の募金活動の他、「健康の喜びを」の鉛筆販売、ペットボトルキャップ回収等の福祉活動に継続して取り組んでいます。リサイクル活動についても、PTAと連携しながらテトラパックやインクカートリッジ等の資源回収などに取り組んでいます。企業ともタイアップしてコンタクトレンズケースを回収しています。これらの活動の一部に代表委員・計画委員が加わり、全校への呼びかけなどを行っています。

また、今年度も、栽培委員会の児童を中心に人権の花運動に取り組む予定です。

「STEAMS TIME」では、4年生が環境、5年生が福祉をテーマにしたPBL（Project Based Learning）に取り組み、自分たちなりにできることを考え、実践します。

保護者、地域、学校が連携しながら、福祉や環境問題に自然と取り組める人材育成を行っています。

